

無限大“∞”

～行事を終え、自分に向き合う～

5.6月にいろいろな行事を経験し、クラスのつながりが深まり、2年生としての自覚が少しずつ芽生え始め、そして「今」の楽しさだけでなく「少し先の未来」をみて行動を始めた生徒が増え始めました。嬉しいかぎりです。その変化が少しずつ周りに波紋のように広がっていくことでしょう。

【5月30日 進路講演会】

ベネッセコーポレーションから講師をお招きして、2年生対象の進路講演会を実施しました。近年の入試環境や共通テスト、国公立大学と私立大学の比較についてお話いただきました。特に、『入試には得点差のつく問題が必要。差がつく問題＝易しい問題＝教科書レベルの問題である』という言葉が心に残りました。何事も土台が大事。授業を通した教科書の理解が受験勉強だと意識しながら日々の学習に取り組んでほしいと思いました。伸びしろは無限大！



【6月6日 第1回高大連携授業～研究に触れる～】

昨年度に引き続き、大学の研究に触れることができる貴重な時間でした。今年度は2回のみとなっており、この2回で高大連携授業は終わります。「大学で何がしたいか」と考えると大学進学はゴールではなく、スタート地点に立つことだと言えます。

みなさんはどんな将来を描くでしょうか。

《国際商経学部》～大澤 篤先生～ テーマ「歴史からみた企業の戦略と組織」

一年生の歴史の授業でフォードの自動車産業について少し知っていたので、この講義を選択しました。最初に教えていただいたのは、「経済学」と「経営学」の違いについてでした。聞いたことはあるけれど、違いはよく分かっていないワードだったので興味深かったです。また、フォードとGM（ゼネラルモーターズ）の経済戦略について学びました。学ぶ前は難しそうな話だと思っていました。しかし、「とにかく安く、たくさん売る」を目指したフォードと、「消費者のニーズに合わせた物を売る」を目指したGMの、双方の戦略の差が面白かったです。フォードより後に出てきたGMが最終的にフォードの国内シェアを超えた時、心は躍りました。心理的戦略や価格の戦略など自分の持っているカードで如何に相手を上回るかという点が、まるで漫画やボードゲームのようだと感じました。自分のあまり興味のないことに、深く楽しさを感じることができ、とても良い時間になりました。（長谷川 綾音）



《工学部》～岸 肇先生～ テーマ「“面白い”接着と複合材料」

今回の高大連携授業で接着剤と身近さと偉大さを知ることができた。僕たちが思う“接着”と言えは、のりやボンドで紙や木材をくっつけるほどしか想像出来ない。しかし、今回の授業で接着剤がスマートフォンやパソコンなど僕たちが普段から何気なく使っている電子機器には様々な種類の接着剤が使われていると知り、その身近さを知れた。また、車などの車両においても新しい溶接や接着技術を使用して車体重量を減少し、燃費を向上させ省エネを実現できCO₂の排出を減らせると知った。接着剤は環境問題の解決の鍵にもなると知り、その偉大さを感じることができた。



授業の中で、ヤモリは何故壁や天井を落ちずに走れるのか、貝は何故水の中で岩にくっついていてのかというテーマで研究して新しい接着剤を作るという話があった。ヤモリが壁や天井を走ることや貝が岩にくっつくことは多くの人が当たり前と感じているが、それを研究のテーマに使うことで新しい知見が得られるので、様々なものに興味を持つことが大切であると感じた。

今回の授業で身近なものには意外な発見があり、思いがけない発明につながると知ったため、身近なものを大切にしておいてよく観察していきたいと思う。（井上 和哉）

「工学部」～永瀬 丈嗣先生～ テーマ「遠隔電子顕微鏡法 (Network tele-microscopy)」

私は今まで電子顕微鏡についてあまり詳しく考えたことはありませんでした。ですが、ウイルスや花粉、髪の毛の写真を撮っていると聞きし、普段から目にしているものも多いと知り驚きました。また、古い材料でも電子顕微鏡でみると成分がわかり研究が進むと知りいろいろ役に立っているとわかりました。今回の講義では、先生が研究されている遠隔で電子顕微鏡を見る技術で大学にいる大学生の方とつないで電子顕微鏡でアルミ合金、亜鉛合金、玉鋼を見せていただきました。遠隔で見ているのにリアルタイムで動かしているところが見れたり、画像ははっきり見えて遠隔電子顕微鏡の技術を体験できて嬉しかったです。電子顕微鏡があるところが少なく地方では使うことが難しいという課題を解決するための研究が都市部から山間部まで幅広い兵庫県だからこそ先行しているとお聞きし、今まで知らなかったのもそんな研究がこの県で行われていることがもっと広まればいいなと思いました。(木村 彩乃)



「理学部」～水島 恒裕先生～ テーマ「体で起こるタンパク質のダイナミックな変化」

私は今回の高大連携授業で「体で起こるタンパク質のダイナミックな変化」について学びました。タンパク質は筋肉や血液、酸素などとして体の中で様々な役割を果たす重要な物質であり、細胞内で作られたタンパク質は、それぞれ特有の立体構造をとることで機能を獲得し、他のタンパク質と強調したり、特定の目印を受け取ったりしながら形を変えて働いていると知りました。またタンパク質は三大栄養素にも含まれており、生命活動維持の中心分子であることから、私たちが生きる上でタンパク質は大切だと思いました。私が今回の授業で一番心に残っていることは、タンパク質の構造が異常になることで、病気を発病してしまう可能性があることです。タンパク質フィールディング病などの身近にない病気やアルツハイマー病、パーキンソン病など身近にあるような病気まで幅広く発病する可能性があることと知り、いつ発病してもおかしくないと思いました。今回の授業で、タンパク質について詳しく知ることができて良かったです。(岩上 京加)



「環境人間学部」～村上 明先生～ テーマ「食と健康: 虚偽情報を科学で斬る」

主な授業の内容は、食や健康に関する情報を科学的な視点で分析するというものでした。

この中で、私が一番印象に残った話は、酵素入りサプリメントの話です。メーカー側のサイトには、酵素をサプリメントとして摂取することで、加齢による酵素の減少を防ぐ効果があると記載されていました。しかし、酵素は加齢によって減少するものでないので、この主張は間違っていることになります。このように、トランス脂肪酸やグルテン、ファスティングなど一般的に良いとされていることでも、実は意味がなかったり、反対に逆効果だったりすることも知ることができました。

また、誇大広告や虚偽広告の見分け方を知ることができたので、商品を購入する際に参考にしたいと思います。今回の授業を通して、食や健康に関するリテラシーを身につけて、自分自身で情報が本当に正しいのか考えることが大切だと感じました。そして、何事にも一度疑いの目を向け、科学的な視点で見直すことを意識したいと思います。(柳生 なつみ)



「環境人間学部」～風間 健宏先生～ テーマ「生態化学量論:なぜミジンコにはリンが多いのか?」

私は「ミジンコにリンが多い」と聞いて、ミジンコは葉緑体を持たず、ATP としてエネルギーを貯蔵する必要があるからリンが多いのかなあ、と思いました。その仮説の元、今回の講義を聞いていたのですが、「ケンミジンコと比べてもミジンコはリンが多い」というグラフでその仮説が崩れました。その時、私は生物基礎しか勉強してなくても理解できるか不安になりました。その後、「ケンミジンコは有性生殖しかできないのに対し、ミジンコは有性生殖も無性生殖もでき、その生殖スピードが速いため、DNA に含まれる情報を伝える過程で必要なリボソームが大量に必要な。リボソームには RNA が多く含まれ、RNA にはリンが含まれている。だからミジンコにはリンが多い」と聞いて、今まで習った事だけで説明できる事に驚きました。その後も、動物プランクトンは恒常性（ホメオスタシス）があり、植物プランクトンにはあまりないので、それを利用してミジンコを増やせる事を教えていただきました。昔習った事がある言葉がたくさん出てきて、あの時学んだ知識は確かに使えるものだったのだな、と改めて感じられました。(中山 実優)



【6月13日 防災訓練】

本当に地震があったら山際に階段状に校舎が並び本校生徒は、どのように避難すると良いのか。年に1回の訓練ですが、「もしも」に備える大切な時間です。消火訓練は、2年生から5名の生徒が生徒代表として参加しました。



【6月13日 生徒会認証式】

第32代生徒会が発足しました。生徒会長：小林拓登 副生徒会長：小寺優大・鳴瀬るなを中心とする執行部16名がそろいました。附属高校生の学校生活を支える縁の下の力持ちです。どんなカラーの生徒会になっていくか楽しみです。生徒のみなさんも生徒会の一員です。学校の中核の学年として、ぜひ力を合わせてほしいと思います。



【ラボ訪問】

訪問先が決定しましたので、夏休みの予定や行き方等を確認してください。また、進路を具体的に考えるきっかけであり、興味のある分野について積極的に学べる機会でもあります。附属校であるからこそ受け入れてくださる場所もあります。事前に訪問する学部や研究所について調べておきましょう。当日は、与えていただいたプログラムを受け身で受講するのではなく、気になったことをどんどん質問してみてください。大学は、能動的に学ぶ場だと高校1年の4月に内田副学長がおっしゃられていましたね。進路選択のきっかけになると願っています。

※ どのラボも、訪問後に「レポート(感想文)」と「アンケート(Form)」に取り組んでもらいます。訪問先で気づいたことはしっかりメモを取っておきましょう。

※ 看護学部・地域ケア研究所を訪問する生徒は、事前課題・事後課題があります。自分の熱量をレポートに記してみましょう。

【保護者の皆様へ】

- ① ラインネットでもお知らせいたしましたが、6月27日付けで「高等学校就学支援金関係書類(ピンク色封筒)」を生徒へ配布しております。提出〆切は7月7日(月)となっております。
- ② 7月10日に研修旅行行程や概要を記載した参加同意書を配布します。18日(金)〆切となっております。
- ③ 7月18日の研修旅行保護者説明会は、保険や外貨の説明もあるため、生徒の隣に保護者席を設ける予定です。また、駐車場は、高校駐車場とダイセル駐車場をお借りしております。
- ④ 18日の説明会にてアレルギー調査等いくつか書類作成をお願いすることになります。提出を24日(木)とさせていただきます。

お忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

♪7月・夏季休業中の行事予定(2年生関連)

4日(金)～10日(木) 第2回定期考査

10日(木) 寮大掃除、寮生集会

11日(金) 進研模試、OBOG講演会

15日(火) 球技大会(3限より)

17日(木) 大掃除・ワックスかけ

18日(金) 7限研修旅行説明会

22日(火)～25日(金) 45分×6限授業

23日(水) 救命救急法講義(放課後)

25日(金) 全校集会、救命救急法実技(放課後)

《夏季休業日》 7月26日(土)～9月4日(木)

22日(火)～8月1日(金) 三者懇談

※クラスにより日程が異なります

26日(土)～8月5日(火) タイ国際交流(希望者)

27日(日)～8月9日(土) オーストラリア国際交流(希望者)

28日(月)～31日(木) 前期補習

8月12日(火)～16日(土) 寮生完全帰省

21日(木) 全統模試(希望者・校内実施)

23日(土) オープンハイスクール

25日(月)～27日(水) 後期補習(希望・指名)

9月5日(金) 大掃除、LHR、課題考査

〈その他の行事〉

※10/2(木) 体育大会

※10/14～10/17 第3回定期考査

※10/27～10/30 研修旅行